



専教寺報

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺
〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2033
TEL.0866-82-0488
URL.<http://www.senkyoji.com/>
E-Mail.senkyoji@cocoa.ocn.ne.jp

題字 大橋曾水



ご挨拶

住職 釋 龍生

新年あけましておめで
とうございます

今年もよろしくお願い
申し上げます

年末の恒例になった京
都の清水寺で発表される
今年を象徴する漢字、去
年は「災」でした。

去年は日本各地で地震
や台風など大きな災害が
発生しました。岡山県に
とっても未曾有の大災害
平成三十年七月豪雨が発
生しました。専教寺でも
当町や隣町が被災して、
約五十軒のご門徒が被害
に遭われました。被災さ
れた皆さんに、あらため
てお見舞いを申し上げる
と共に、関係各位に対し
て、一日も早い被災した
町の復興と、被災者への

将来的に持続する充実や
安定した支援、また早急
な河川の整備を要望しま
す。

また、去年は専教寺に
とってうれしいニュース
もありました。長男の誕
生です。去年の秋の寺報
でお知らせしましたが、
六月十三日に生まれまし
た。名前は「照(あきや)」
です。私と同年の方の中
には、お孫さんがおられ
る方もいて、私も孫がい
てもおかしくない年齢で
すが、この長男の誕生に、
今まで味わったことのな
い嬉しさと、新たな家族
を守っていく覚悟に身が
引き締まる思いを経験す
ることができました。

生まれて半年が過ぎて、
まだ喋るといっても「アー」
「ウー」ぐらいなもので、
一緒に本堂にお参りして
もお念仏は申せませんが、

坊守に手を持たれて合わ
せる合掌の姿に、「この
子も阿弥陀さまのお救い
のおはたらきをいただい
ているんだな」と実感し
ます。

仏教ではこの世は諸行
無常、この世は常ならぬ
と説き、世間では人生を
歩んでいく有様を、時代
劇の主題歌のように「人
生楽ありや苦もあるさ」
と表現します。長男の人
生の上にも例外無く、喜
び、幸せを実感する時も
あれば、悲しみや苦しみ
に喘ぐ時もあるでしょう。
しかしどんなことがあつ
ても、私は長男の親とし
て、坊守とともにこの子
に寄り添い続けながら、
家族で、その喜びや悲し
みを共有し合って、支え
合い、そしてお念仏申す
人生を歩んでいきたいと
思っています。

坊守
佐々木 ひろみ

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします

昨年七月の豪雨災害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。早い復興を願っております。

専教寺では、六月に長男が誕生しました。ご門徒の方々には、お祝いの言葉をかけていただき、ありがとうございます。息子は生後六ヶ月になりました。その成長に驚いたり、喜んだりする日々です。

私は、朝早くから夜遅くまで仕事に出ていたので、平日の明るい時間帯に近所を歩くことは、これまでほとんどありませんでした。今は、育児休業中なので、息子を連れて散歩をしながら

ら買い物に行ったりします。すると、改めて気づかされることもたくさんあります。

例えば、買い物に行くと、知らない方が息子に声をかけてくださいます。息子は、人に会うのが楽しいらしく、うれしそうに、にこにこ笑います。自然と私も笑顔になります、いろいろな方とお話しする機会に恵まれました。

また、車で買い物に出かけて店へ入った時のことです。二つの店で、機嫌のよかった息子が、突然泣き出しました。一軒目は、おしゃれな雰囲気作りのために、照明を暗くしていました。

それが不安だったようです。二軒目は、明るい雰囲気作りのために、音楽を大きな音量でかけていました。それにびっくりしたようです。それらは、店の工夫であり、もちろん悪いことではないのですが、赤ちゃんにとっ

てはしんどいことだったのだと気づきました。家でも、ずっと寝たところにも関わらず、私が突然電話に出た声で、びっくりして起きてしまったことがあり、反省しました。

知らない方が優しく声をかけてくださるように、今まで私は人に気を配っていたかどうかと思います。また、気にも留めなかったことで、自分自身がだれかに迷惑をかけていたこともあったのではないだろうか、と考えました。

一歩外へ出れば、年齢や立場のちがう人たちにたくさん出会います。今年は、少しでも多くのことに気づき、気を配れるようになりたいと思います。

以前、小学生に、「赤ちゃんのグーの手の中に何があると思う?」と聞かれたことがあります。

うーん、何かなと考えていると、

「幸せをにぎってるんやで。」と、その子が教えてくれました。

今、息子の手を見ながら、時々この話を思い出して、幸せな気持ちになっていきます。

門徒総代長

古城 哲夫

明けましておめでとうございます

ご門徒の皆様におかれましては、さまざまな思いで新年をお迎えのことと存じます。

専教寺護寺に関しまして、常にご理解ご協力を賜りまして有り難うございます。

昨年七月豪雨により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

当専教寺では、五十戸近

いご門徒が被災されました。大水からの脱出、避難、片付けと、真夏の大惨事となりました。

いろいろな方面から支援の手が差しのべられ、ご門徒の方々も次々と物資を本堂に持ち寄って下さいました。専教寺ご住職も、安否確認、被害状況の把握、物資の搬入、ボランティアの要請等、東奔西走され、私も物資搬入に同行させて頂いた頂きました。機器、家具、衣類、生活用品等の多くを失い、家屋の損傷激しい惨状です。

仏壇を失った方には、要望に応じ、ご本尊の無償交付を本山に申請され、ご住職は当面のお給仕のための仏具などを贈られて、「毎日、仏様にお参りできる」と安堵されたご門徒も、多くおられたと聞いています。

専教寺護寺会は、義援金を本山に送り、当仏教婦人会は、支援物資搬入、調達発送に取り組みました。

十月には、西本願寺のご門主が、被災状況視察にこの地方を訪問され、被災寺院の本林寺（笠岡市）でご面接が行われました。その際、参列した被災者にお見舞いとねぎらいのおこたえを賜り、私共は力づけられ有り難く思いました。

今なお、多くの方が、仮設やみなしの住居などで、不便なくらしを続けておられます。寒くなり健康面も心配されます。

そんな中で「多くの方の支援のおかげで、生きるこゝとができた」と感謝の心を持って、前向きに立ち上がられています。被災された方々の一日も早い復興を願います。

さて、専教寺で勤修される行事、法要は、皆様のご奉仕、参拝によって滞りなく営まれ、ご苦労の中におられる方ともいっしょに、ご法話を聞くことができ、有り難く思っています。この温かいお聴聞の場を、大切にしたいと思っています。皆様のご健康を念じ、今年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

直たま々さ
生しき方だ
発災の被た
の被災した
雨をいた
豪資を信
月物せ徒
7救さ門
0援け際
3にその
0より、
成域に
平後地
が物資
がまし
い

心より御礼申し上げます。
一乗山 専教寺

仏婦会長

石井 町子

新年明けましておめでとうございます

ご門徒の皆様には お健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

昨年中、仏教婦人会では、法要・奉仕作業・研修会等諸行事に多数の方のご参加、ご協力をいただき感謝して

います。顧みますれば、平成三十年は、本当にきびしい受難の年、漢字一字「災」が選ばれました。全国各地で自然災害が発生しました。災害が少ないと言われてきた岡山県の真備町、そして矢掛町などの多くのご門徒の方々が災害に遭われたと聞いています。

お見舞い申し上げます。

先般の専教寺寺報で、

住職さんと真備町の方の

赤裸々な被害状況がつづ

られていました。繰り返

し読ませていただき、心

が痛みました。私事です

が、年末に数人の同級生

が集まって、会食しまし

た。その日、真備町で被

災した友が参加していま

した。彼女は、お店が災

害に遭い、ボートで避難

する時、真備町の方も書

いておられました。井

原線の高架橋の下をくぐ

る時に、頭を低くするよ

うに言われたこと、店の

器材などが水にプカプカ

していたなどと話してい

たのですが、急に涙ぐみ、

「どうしようもない、お

にすべてが含まれている
ようでした。でも、皆に
会えたことが何よりうれ
しいと話していました。
どうぞ、復興に向けて頑
張ってほしいと願うのみ
でした。

でした。

平成三十年は、嬉しい

こともありました。専教

寺さんでは、ニューフェ

イス照さんお誕生！お会

いする度に成長ぶりに目

を見張るものを感じてい

ます。健やかに成長され

ますようお願いいたしま

す。

今年も専教寺さんの門

徒として、仏教婦人とし

て、研修に、お聴聞に参

加し、その都度お互いに

話し合える場をもち、

「南無阿弥陀仏」の和を

広げていきたいと願って

光寿無量

新年あけまして

おめでとうございます

今年もよろしく

お願い申し上げます

一乗山 専教寺

門信徒総代一同
仏教婦人会役員一同

すべからず



仏婦新春のつどい 1月13日(日曜日)午後1時30分～

永代経法要 4月28日(日曜日)午前10時30分～
講師:広島県三次市 専正寺 深水 顕真 師